

防災教育・活動による家庭内の防災意識への影響 -保戸島小学校でのモニタリング調査からの課題-

大分大学工学部福祉環境工学科建築コース
建築・都市計画研究
4年 佐伯 莉歩

2014.02.20(Thu)

背景・目的

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際、一部の地域では
防災教育を受けていたことから多くの小中学生が津波の難から逃れた。

南海トラフ巨大地震にむけて住民の防災意識の向上が必要。

児童から保護者や地域住民への防災意識の**波及**の可能性があり、
児童を中心とした**ソフト的対策**である**防災教育**が重要視されている。



研究方法

WS 前アンケート



家庭内の防災意識や対策の現状を把握



ワークショップ
(WS)



Home-DIGを行う（前年度と同様）



WS 直後アンケート

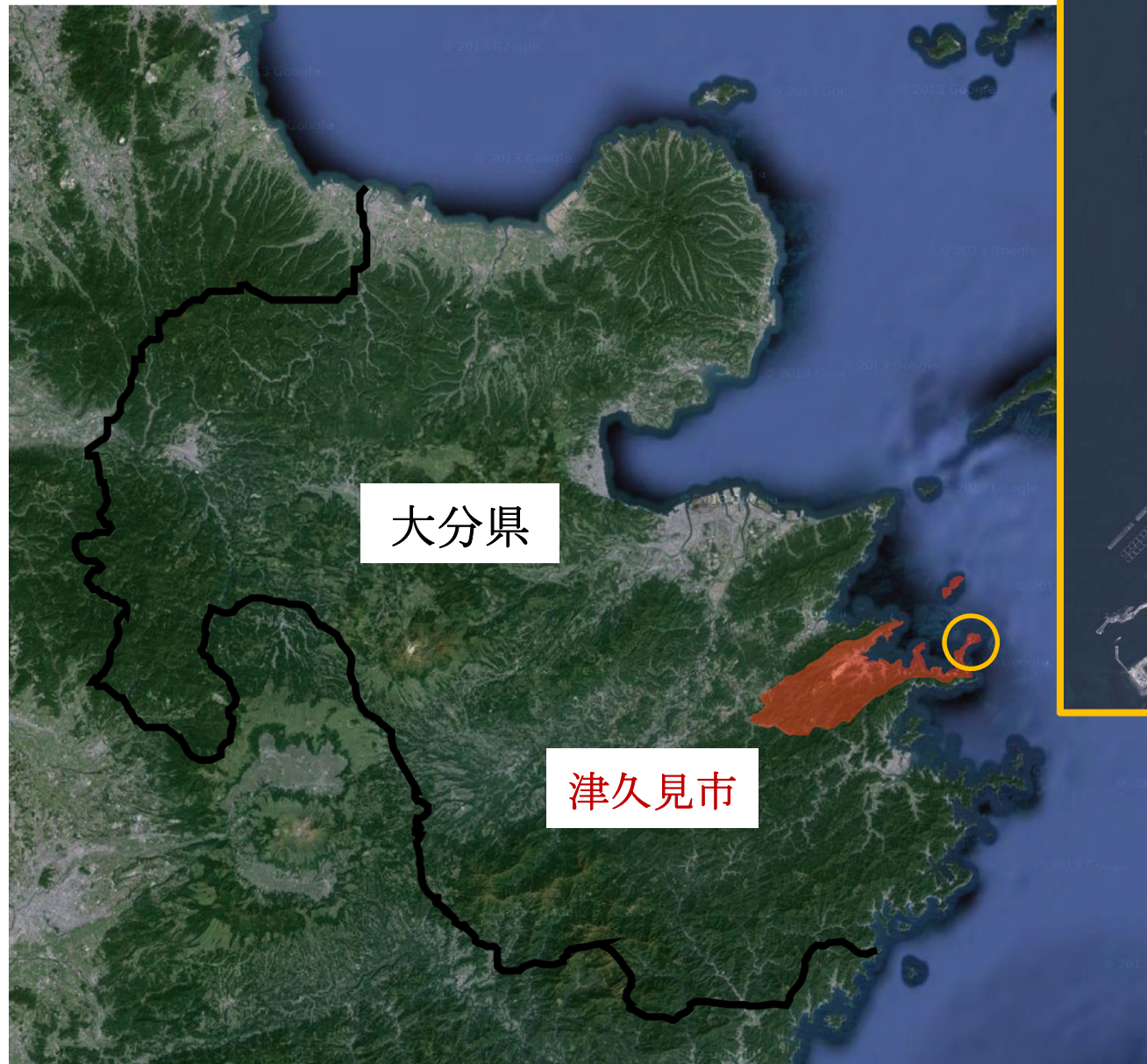


モニタリングを行う

WS 後アンケート



研究対象地



研究対象地



保戸島には「狭い路地」や「踏み面・蹴上の違う階段」が多くある

地震・津波発生時に脅威となりうる危険箇所が多くある



避難をスムーズに行うためにも防災意識の向上が必要

台風の日には波が押し寄せてくる



【アンケート対象者】

保戸島小学校の全児童12名とその保護者10名

【アンケート項目】

児童用

- ・ 回答者属性
- ・ 災害や防災に関する知識
- ・ 災害へのイメージ
- ・ 防災に関する行動や対策
- ・ WSの活動について

保護者用

- ・ 回答者属性
- ・ 災害や防災に関する知識
- ・ 災害へのイメージ
- ・ 家庭での防災対策について
- ・ 学校，地域での防災対策の認知状況
- ・ WSの活動について

【アンケート対象者】

保戸島小学校の全児童12名とその保護者10名

【アンケート項目】

児童用

- ・ 回答者属性
- ・ 災害や防災に関する知識
- ・ 災害へのイメージ
- ・ 防災に関する行動や対策
- ・ WSの活動について

保護者用

- ・ 回答者属性
- ・ 災害や防災に関する知識
- ・ 災害へのイメージ
- ・ 家庭での防災対策について
- ・ 学校、地域での防災対策の認知状況
- ・ WSの活動について

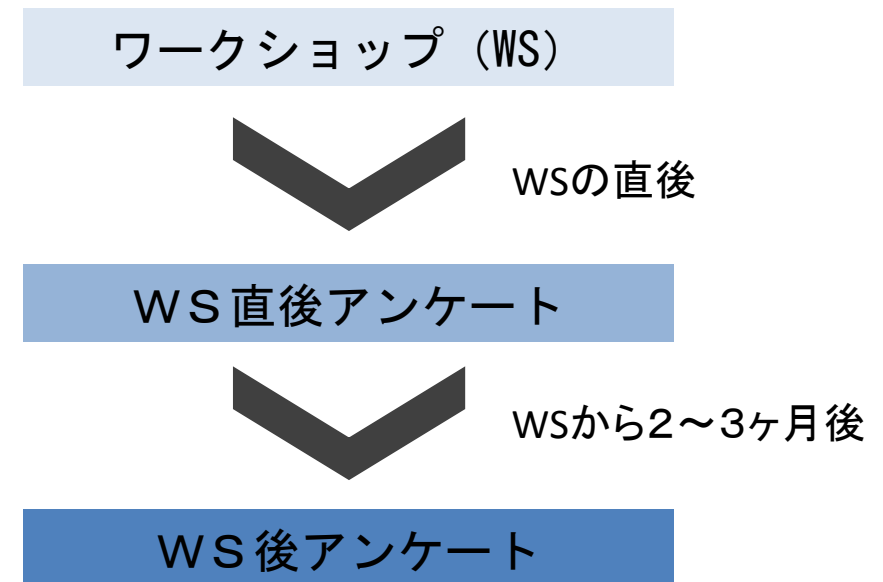
アンケート概要

【アンケートの流れ】

児童用



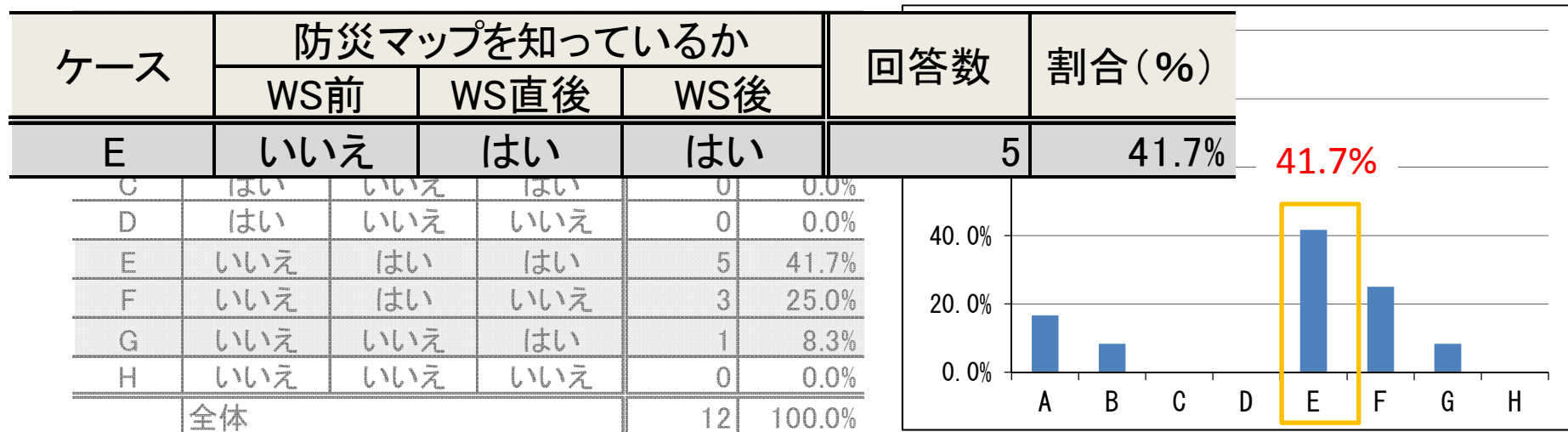
保護者用



モニタリング結果(児童用)

防災に関する知識について

Q 「防災マップ」を知っていますか？



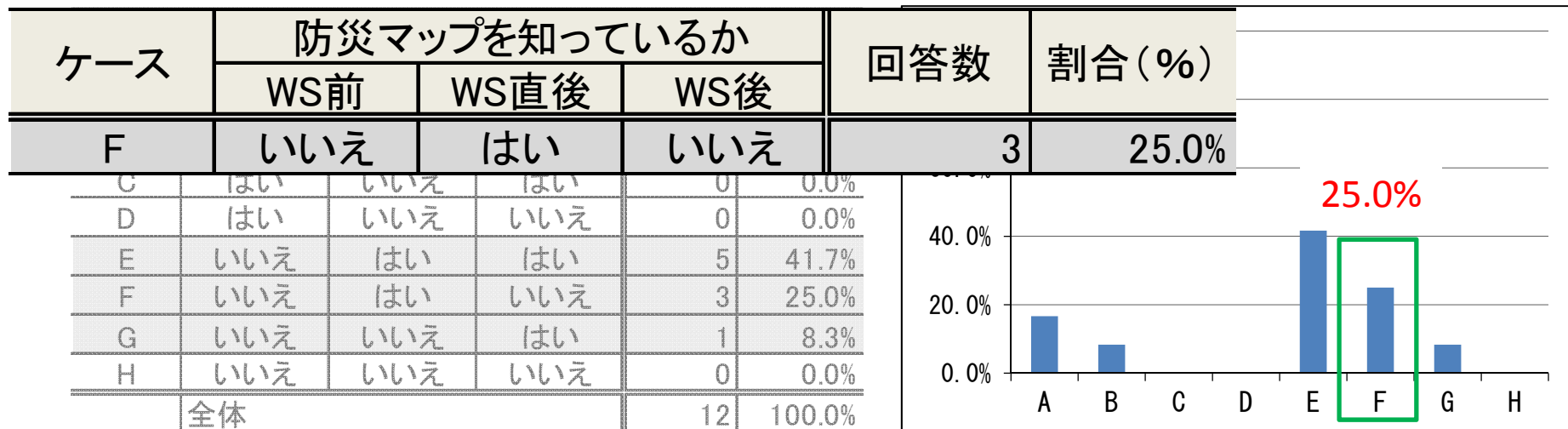
「防災マップ」の認知度が高くなった。



WSを通して、防災に関する知識を得ることができたと考えられる。

モニタリング結果(児童用)

Q 「防災マップ」を知っていますか？



防災に関する知識が**時間の経過とともに忘れられている。**



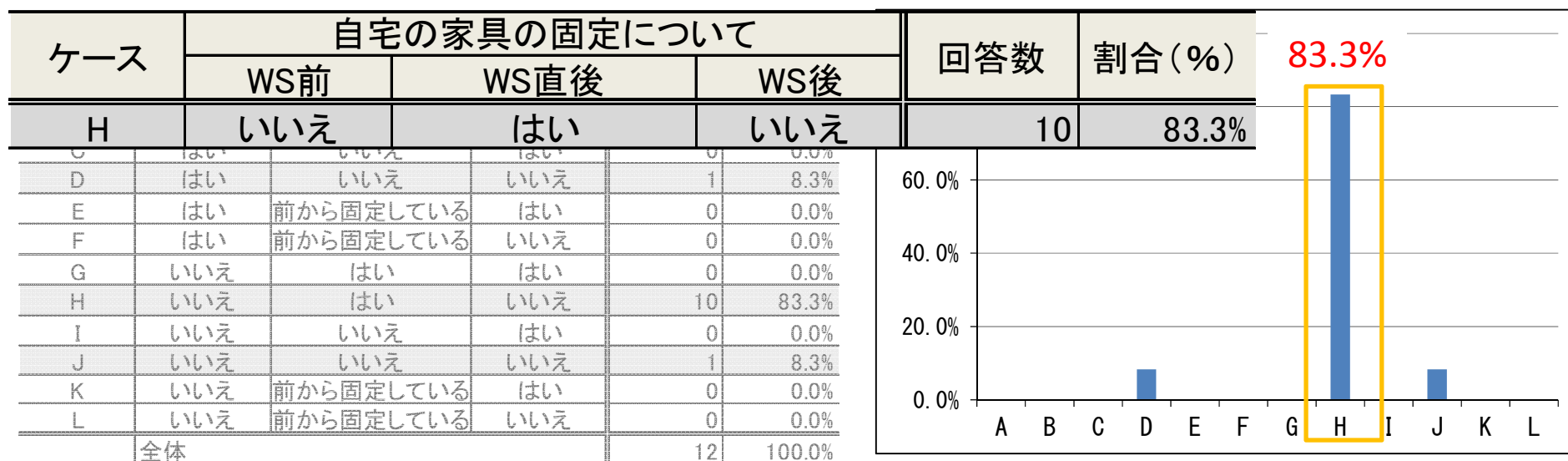
知識の定着には**継続的**な防災に関する**知識を得る機会が必要**だと考えられる。

モニタリング結果(児童用)

防災に関する対策について

【WS前・WS後】 Q 自宅の家具を固定していますか？

【WS直後】 Q 今後、自宅の家具を固定しようと思えますか？



最終的に「自宅の家具の固定」を行っていない。



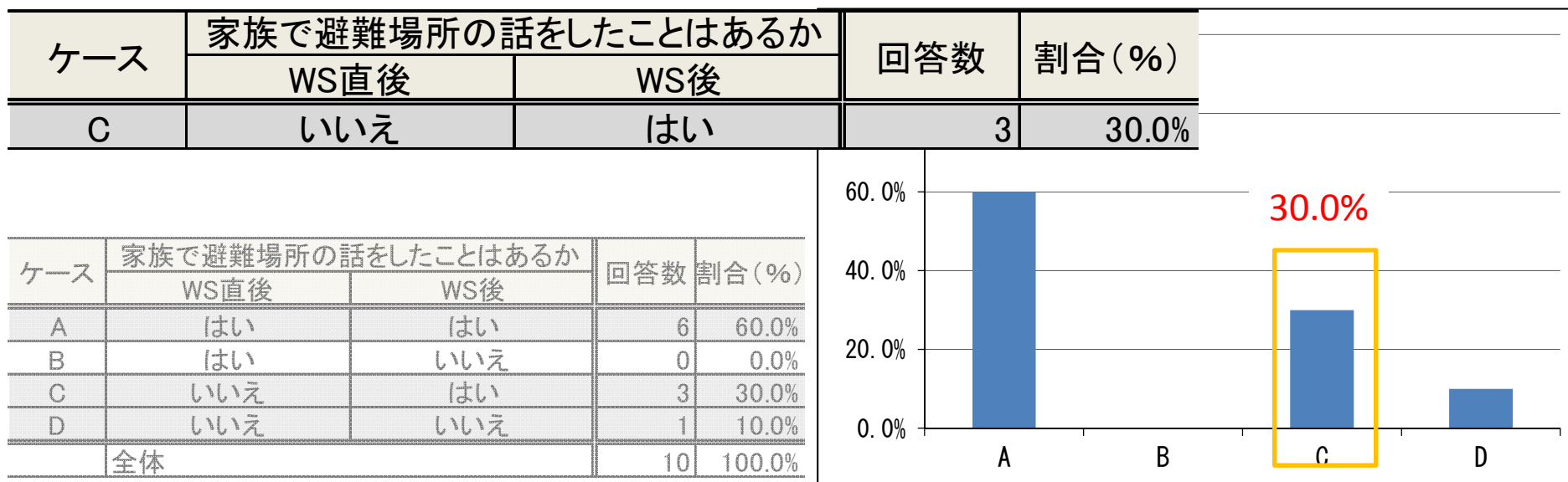
防災対策を行う意思があっても行動に移せていない現状があると考えられる。

モニタリング結果(保護者用)

防災に関する対策について

【WS直後】 Q 今まで、避難場所についての話を家族としたことはありますか？

【WS後】 Q WS後に、避難場所についての話をしましたか？



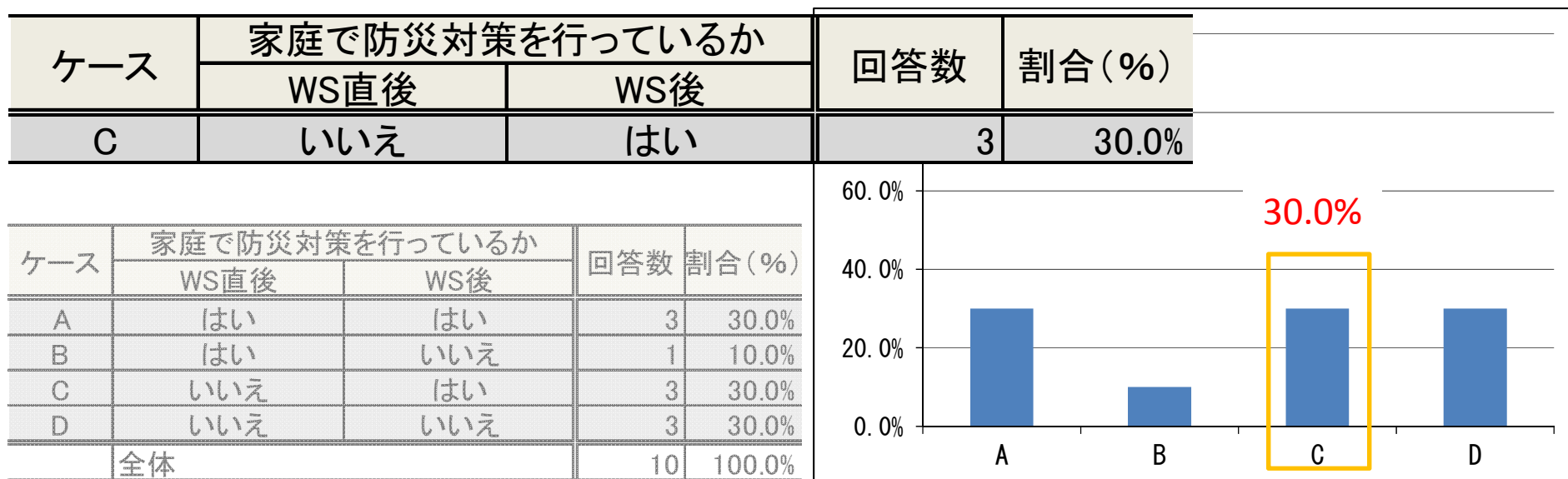
3割の家庭で避難場所について話をされるようになった。



WS経験し、防災意識が高くなったと考えられる。

モニタリング結果(保護者用)

Q 家庭で防災対策(災害時の持ち出し品の準備, 家具の固定等)を行っていますか？



3割の家庭で**防災対策が行われるようになった**。



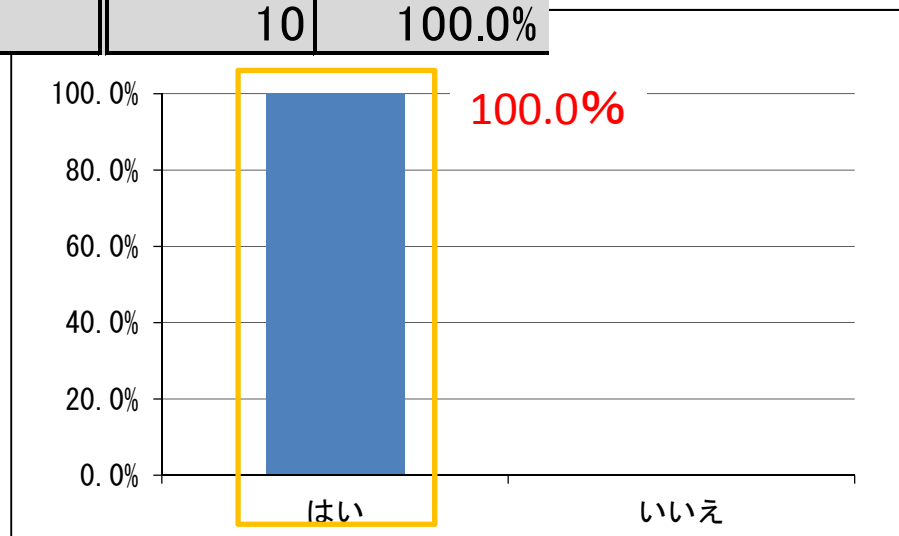
WS経験し、**防災意識が高くなった**と考えられる。

モニタリング結果(保護者用)

【WS直後】 Q 災害や防災について学ぶことは大切ですか？

No.	災害や防災について学ぶことは大切か	回答数	割合(%)
1	はい	10	100.0%

No.	災害や防災について学ぶことは大切か	回答数	割合(%)
1	はい	10	100.0%
2	いいえ	0	0.0%
	全体	10	100.0%



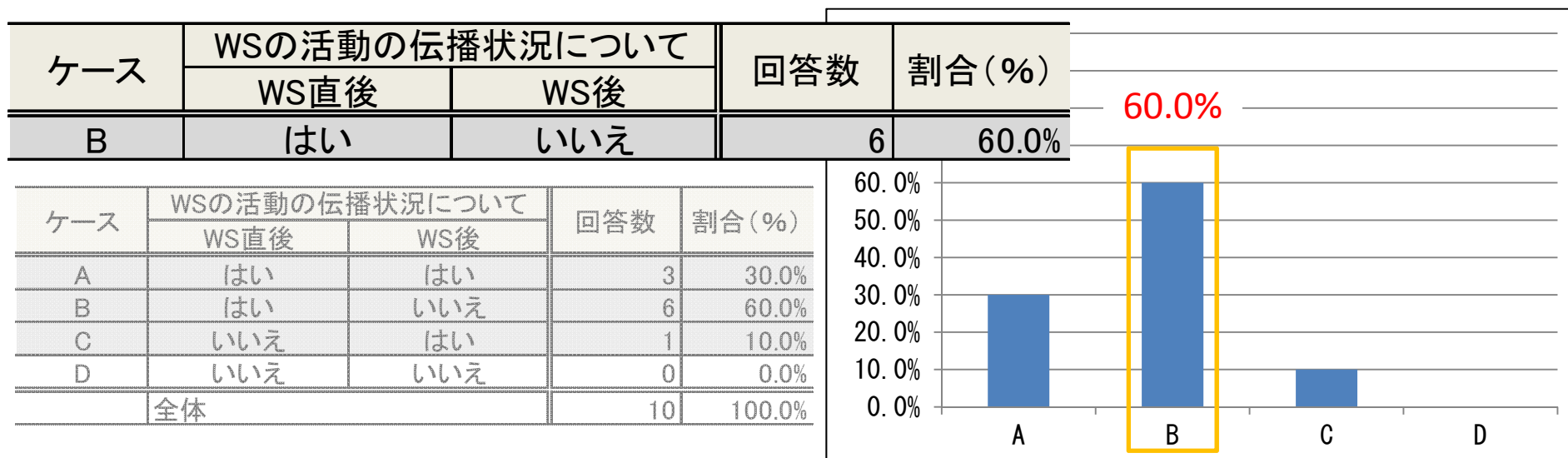
全ての家庭で災害・防災について学ぶことが大切だと理解されている。



モニタリング結果(保護者用)

【WS直後】 Q WSでの活動のことを他の人に教えますか？

【WS後】 Q WSでの活動のことを他の人に教えましたか？



6割の家庭で**周囲（地域の人等）**へ防災に関する**情報が伝播できていない**。



情報の伝播を**行う意思があっても行動に移せていない**現状があると考えられる。

本研究より明らかになったことや傾向を以下に示す

- 災害や防災に関する知識はWSにより **学習しやすい**
- 防災対策を行う **意思**はあるが、**行動**に移すことが難しい
- WSにより家庭内で防災に関する話をする **機会が増えた**
- 各家庭で防災に関する知識・対策の **重要性**を理解しているが、他の人と **情報を共有できていない**



今後の課題と展望

- ・防災教育・活動を学校などで**継続して行っていく**必要がある。
- ・防災対策は**児童だけではできないこと**の方が多いため保護者の協力があることが望ましい。



児童が学校で行われた防災教育・活動などで得た知識や体験を家庭や地域に発信し、**情報の共有**や**防災対策を互いに促し合う**ことで

児童を**中心**とした**地域防災力の向上**につながると考えられる。

ご清聴ありがとうございました



【参考文献】

- 1) 黒崎ひろみ, 中野晋, 橋本誠, 東雲礼華: 地震・津波をテーマとした学校防災教育効果の持続と低下, 土木学会論文集, vol. 66, pp401-405, 2010
- 2) 此松昌彦, 中北綾香: 和歌山県北部の児童・生徒・学生に行った防災教育意識調査, 和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要, No. 20, 133-142, 2010

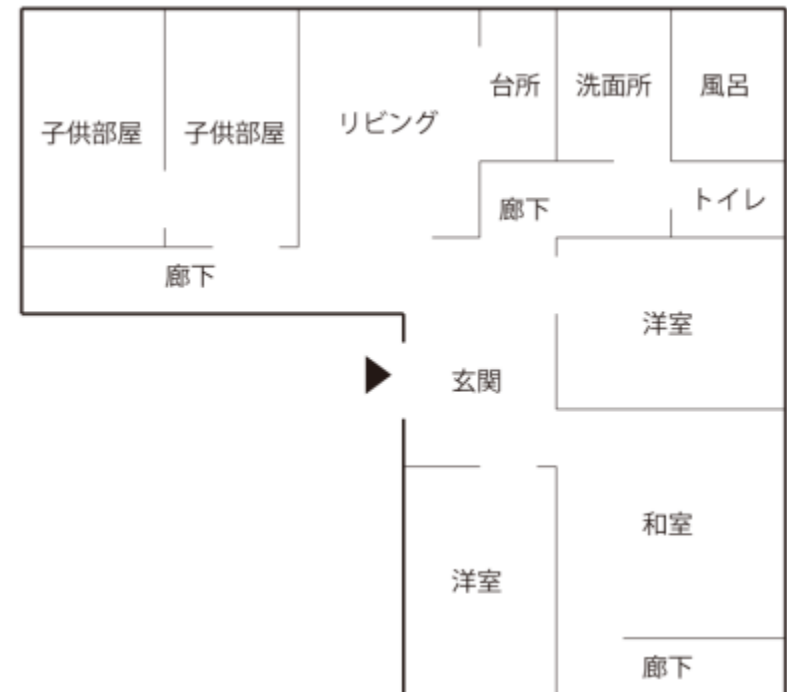
【参考URL】

■津久見市ホームページ: <http://www.city.tsukumi.oita.jp/>

Home-DIGについて

- 日時：2013年7月16日（火曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
その保護者10名
- 目的：自宅に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①家の図面を簡単にかいたものを用意する。

〈イメージ図〉



ワークショップについて

Home-DIGについて

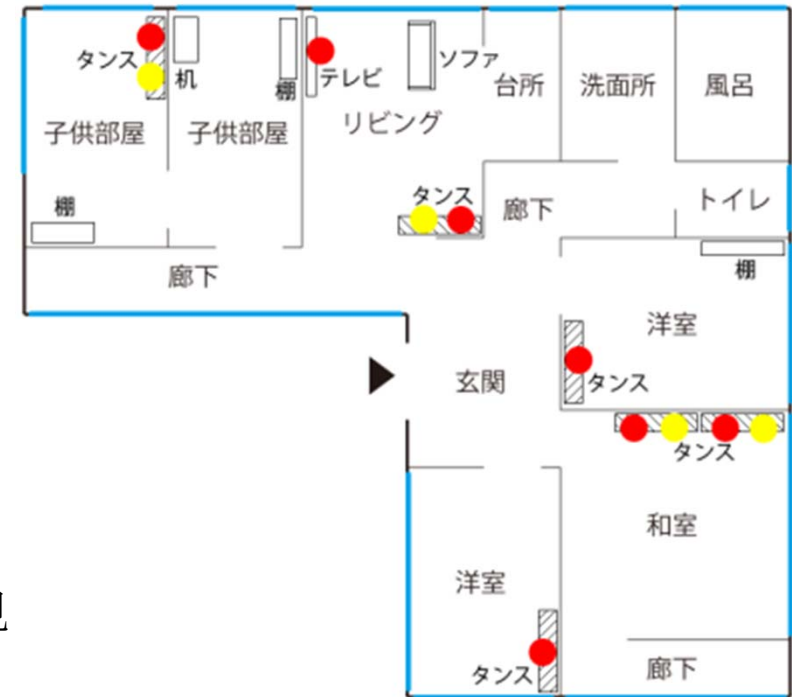
- 日時：2013年7月16日（火曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
その保護者10名
- 目的：自宅に潜む危険を認識すること
- 方法：

①家の図面を簡単にかいたものを用意する。

②家具の位置や名前を記入する。

- 固定されていない家具：赤シールで表現
- 高い所にある危険なもの：黄色シールで表現
- 窓ガラスのある位置に青線を引く

〈イメージ図〉



ワークショップについて

Home-DIGについて

- 日時：2013年7月16日（火曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名とその保護者10名
- 目的：自宅に潜む危険を認識すること
- 方法：

①家の図面を簡単にかいたものを用意する。

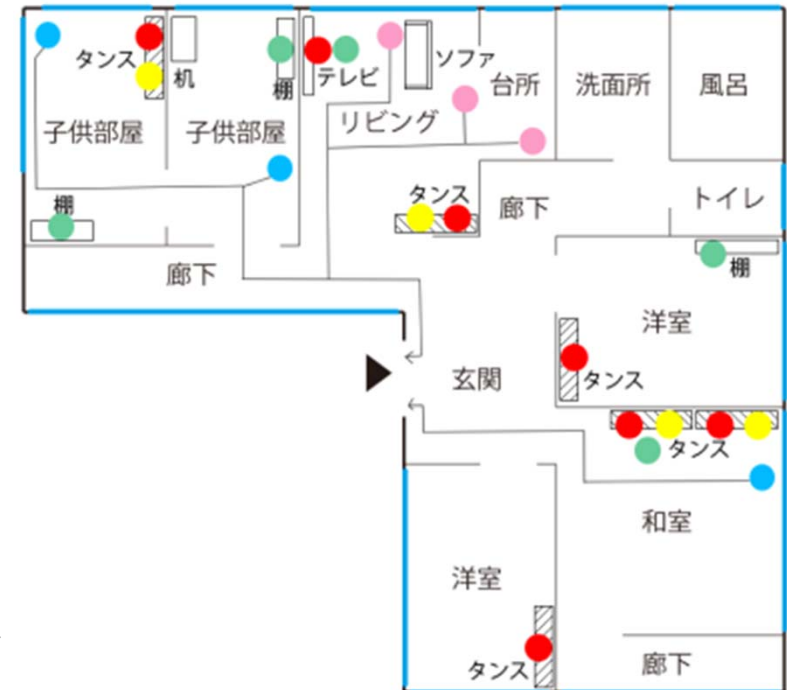
②家具の位置や名前を記入する。

- 固定されていない家具：赤シールで表現
- 高い所にある危険なもの：黄色シールで表現
- 窓ガラスのある位置に青線を引く

③児童や保護者が「夕食時 ●」や「就寝時 ●」にどの部屋にいるか記入し、その場所からの避難経路を確認する。

④Home-DIGのときに気付かなかった危険箇所を緑シールで表現

〈イメージ図〉



ワークショップについて

Home-DIGの結果

	玄関	廊下	和室	子供部屋1	子供部屋2	部屋1	部屋2	部屋3	寝室	親父母の部屋	両親の部屋	リビング					キッチン				洗面所	お風呂	物置	合計				
												その他	テレビ	ソファ	窓	テーブル	扉・押入れ	タンス	その他	コンロ					冷蔵庫	食器棚		
A家	1階	固定されていない家具																								2		
		みんなの身長よりも高い所にある危険かもしれないもの																									5	
		夕食時にいるところ																									3	
		就寝時にいるところ																										0
		Home-DIG後危険と思うところ																										7
2階	固定されていない家具																										2	
	みんなの身長よりも高い所にある危険かもしれないもの																										2	
	夕食時にいるところ																										0	
	就寝時にいるところ																										1	
	Home-DIG後危険と思うところ																										2	
合計	0	0	0	0	0	6	2	5	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	4	0	0	0	2	0	0	24		

	玄関	廊下	和室	子ども部屋1	子ども部屋2	部屋1	部屋2	部屋3	寝室	親父母の部屋	両親の部屋	リビング					キッチン				洗面所	お風呂	物置	合計				
												その他	テレビ	ソファ	窓	テーブル	扉・押入れ	タンス	その他	コンロ					冷蔵庫	食器棚		
O家	1階	固定されていない家具																									2	
		みんなの身長よりも高い所にある危険かもしれないもの																										1
		夕食時にいるところ																										2
		就寝時にいるところ																										0
		Home-DIG後危険と思うところ																										1
2階	固定されていない家具																										2	
	みんなの身長よりも高い所にある危険かもしれないもの																										2	
	夕食時にいるところ																										0	
	就寝時にいるところ																										2	
	Home-DIG後危険と思うところ																										0	
3階	固定されていない家具																										0	
	みんなの身長よりも高い所にある危険かもしれないもの																										0	
	夕食時にいるところ																										0	
	就寝時にいるところ																										0	
	Home-DIG後危険と思うところ																										2	
合計	0	0	0	4	0	3	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	15		

危険が潜んでいる

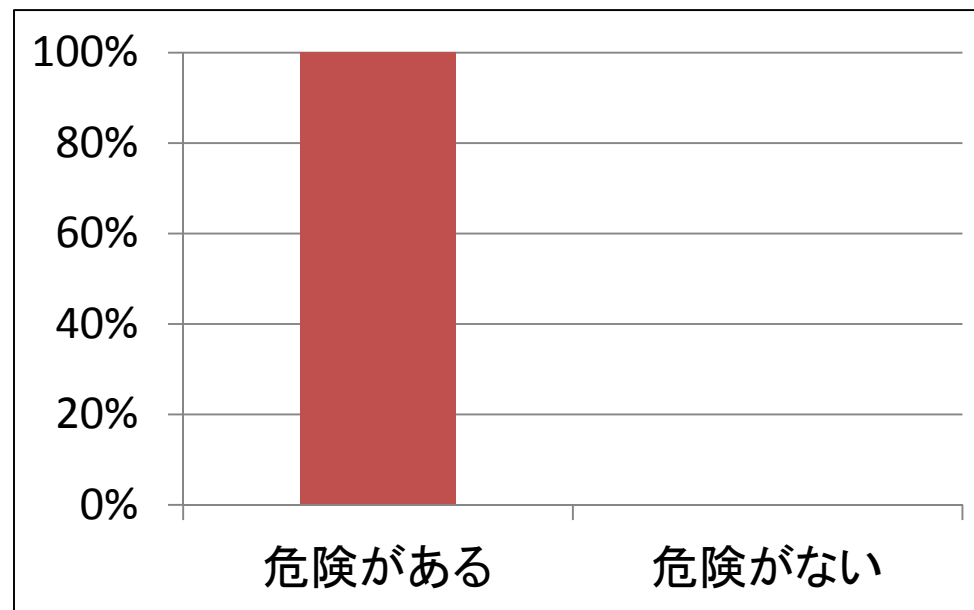
3階	固定されていない家具																										5	
	みんなの身長よりも高い所にある危険かもしれないもの																											2
	夕食時にいるところ																											2
	就寝時にいるところ																											2
	Home-DIG後危険と思うところ																											1

就寝時にいるところ																											5
Home-DIG後危険と思うところ																											0
合計	1	2	5	11	0	2	0	0	9	4	0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	2	2	0	0	4	49	

夕食時にいる場所

Home-DIGの結果

○ 「夕食時」に危険が潜んでいる家庭

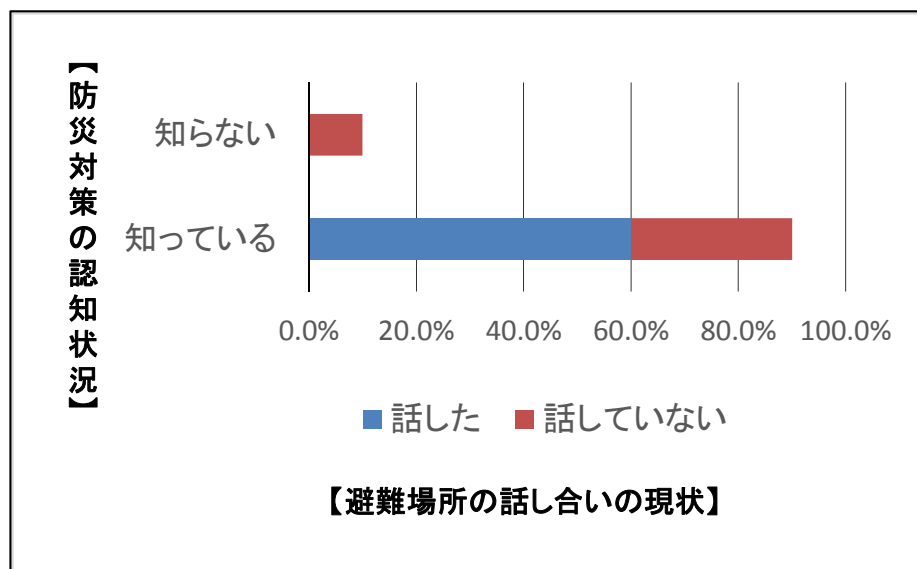


モニタリング結果(保護者用)

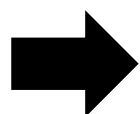
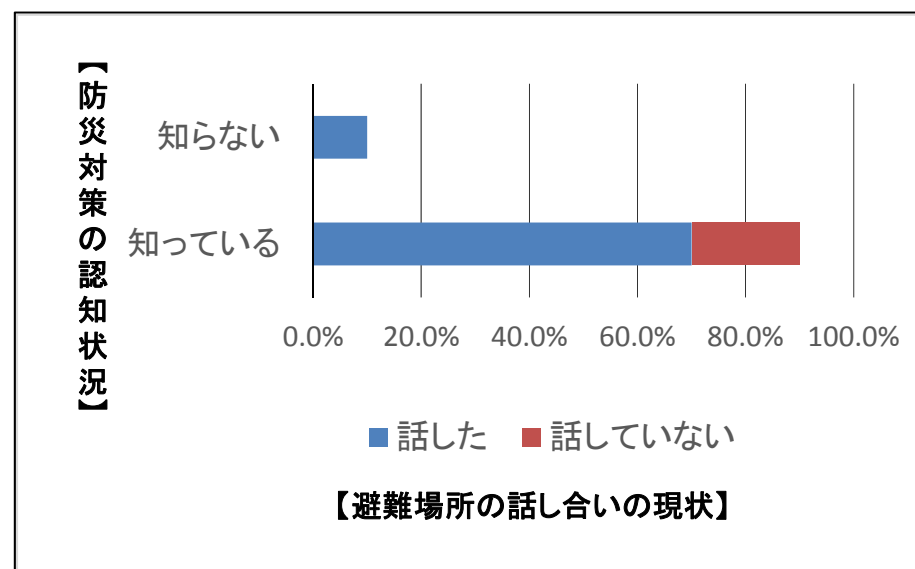
防災における学校・地域との関わりについて

「学校の防災対策」についての認知状況が「家庭内の防災対策」にどのように影響するのかを把握する。

【WS直後アンケートの結果】



【WS後アンケートの結果】



WSによる影響はみられなかったものの、認知状況は高く、親子間で防災についての話し合いの機会が増えたと考えられる。

School-DIGについて

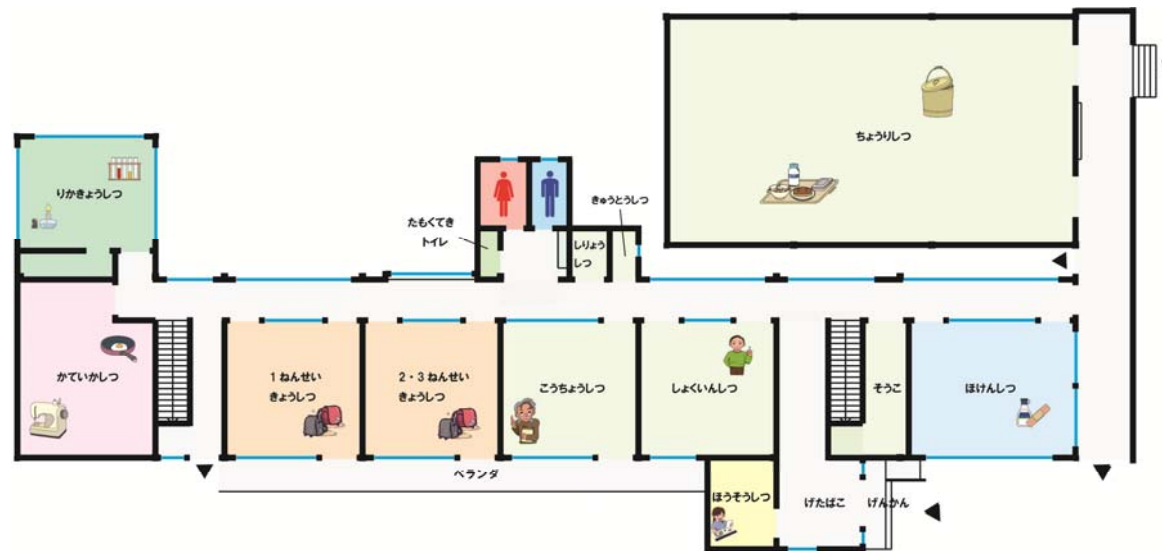
- 日時：2013年10月31日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：学校に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①学校内を点検する。

【点検中の様子】



School-DIGについて

- 日時：2013年10月31日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：学校に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①学校内を点検する。
 - ②学校図面に危険箇所や危険物，地震発生時に役に立つものなどを書き込む



【学校の図面】

School-DIGについて

- 日時：2013年10月31日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：学校に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①学校内を点検する。
 - ②学校図面に危険箇所や危険物、地震発生時に役に立つものなどを書き込む
 - ③地震が発生した場合にどのような行動をするか想像してもらう
(イマジネーションゲーム)



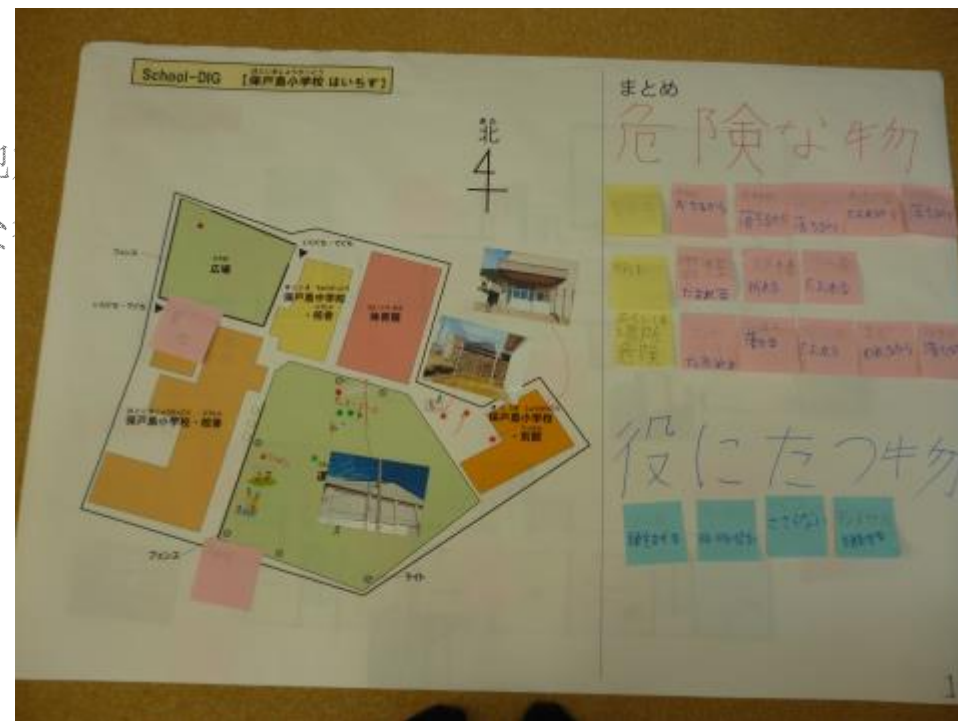
地震が起きたらどうなるかを
想像する・・・



ワークショップについて

School-DIGについて

- 日時：2013年10月31日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：学校に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①学校内を点検する。
 - ②学校図面に危険箇所や危険物，地
 - ③地震が発生した場合にどのような
(イマジネーションゲーム)
 - ④意見をまとめる



【成果物】

Shima-DIGについて

- 日時：2013年11月28日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：島に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①島内を点検する。

【点検中の様子】



Shima-DIGについて

- 日時：2013年11月28日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：島に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①島内を点検する。
 - ②島の図面に危険箇所や危険物，地震発生時に役に立つものなどを書き込む




【島の図面】

ワークショップについて


Shima-DIGについて

- 日時：2013年11月28日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：島に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①島内を点検する。
 - ②島の図面に危険箇所や危険物、地震発生時に役に立つものなどを書き込む
 - ③自宅から避難場所までの避難の流れを想像し、危険を回避する行動などを理解してもらう（イマジネーションゲーム）


みなさんは、階段をのぼり、
とうとう「ひなん場所」につきました！




Q4 まず、あなたはどのようなことをしますか？



みなさんは、この道を通っています！



Q2 この写真のなかで、
キケンなものはなんですか？

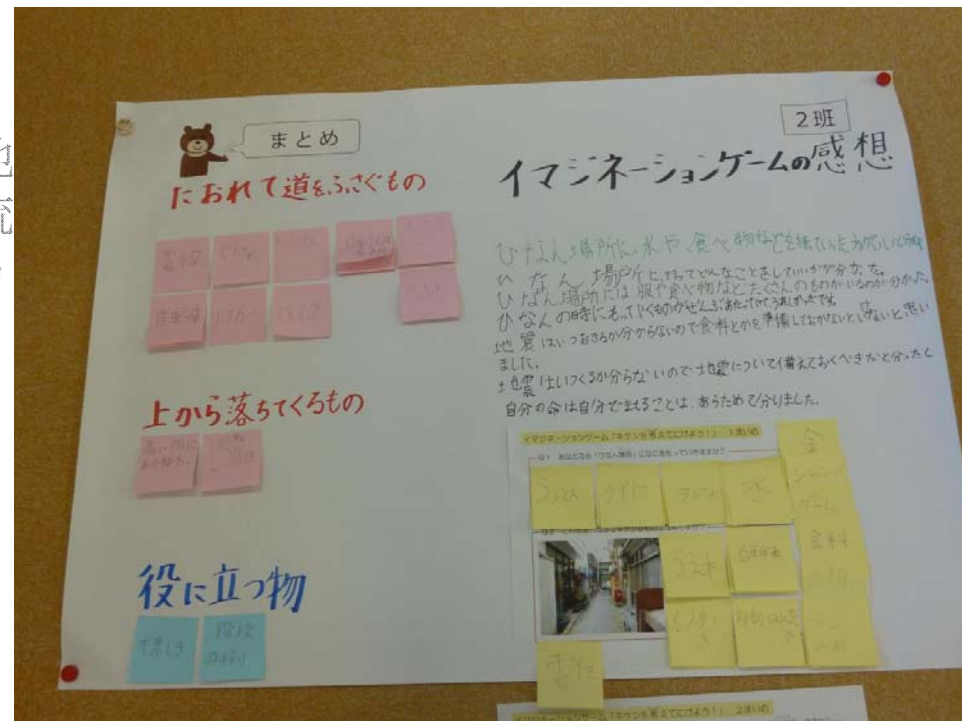


【ゲームの質問】

ワークショップについて

Shima-DIGについて

- 日時：2013年11月28日（木曜日）
- 対象者：保戸島小学校の児童12名と
- 目的：島に潜む危険を認識すること
- 方法：
 - ①島内を点検する。
 - ②島の図面に危険箇所や危険物，地
 - ③自宅から避難場所までの避難の流
 - 理解してもらう（イマジネーショ
 - ④意見をまとめる



【成果物】